

ワケ カタチには理由がある(11)

～カモフラージュヘリコプター



(↓ 同時代の米海軍ヘリコプターSH-2F と)



(エアフィックス 1/600

巡洋艦モスクワのキット箱絵↓)



本機は、ロシア海軍、というか往年のソビエト海軍の艦載ヘリコプターです。1961年に初飛行しています。この機体の特徴は、なんといっても二重反転ローターで、お互いのトルクを相殺できるため、通常型のヘリコプターが持つテールローターを有しません。また、機首下面に大きなレーダードームを配置したコロッシとした機体の輪郭も独特です。今でこそ空力やら RCS やらで、どの国がデザインしても航空機は同じような形状になってしましますが、この時代、作った国の文化が機体形状に反映しているように思います。ちょうど「スタートレック」のエンタープライズに対するクリンゴンの戦艦のように、日本人が見慣れた米国の文化とは違うソビエトの文化をこの機体から感じたものでした。この機体は巡洋艦モスクワ等により運用されましたが、日本海軍の伊勢/日向と同じ半空母型の船体から多数が離発着する情景は、さぞや独特な景色だったと思います。

【模型について】

英国のエアフィックス(Airfix)製 1/72 のインジェクションキットです。このキットは、知る人ぞ知る傑作キットで、複雑なローターハブや機体に取り付けられた補機類も十分なディテールで再現されています。リリースは 1984 年で、なんと 37 年前ですが、現在でも存在意義を失っていません。

(中川裕幸 2021 年 3 月)